



OHARA サポーター倶楽部会報

丸窓

[第21号] 2020年4月

《掲載情報》

- ・メッセージ
- ・私が選ぶ この1点
- ・ミュージアムショップ情報など

発行:大原美術館後援会事務局

メッセージ

大原美術館は2020年11月に開館90周年を迎えます！

理事長 大原あかね



平素は、大原美術館の運営にあたり格別のご高配を賜り心より御礼申し上げます。今年は開館90周年を迎えます。この記念となる年度の始まりを皆様と迎えることができますこと、大変うれしく思います。

現在大原美術館は中国銀行様からちょうどよい建物を新しい展示館にするプロジェクトを、皆様からのご支援をいただきながら進めております。そして、私はこのプロジェクトの達成、新しい展示館の開館を一番の目標にしています。それは、この展示館の開館が美術の世界だけでなく、多くの方々にとって意義のあることだと信じているからです。そのため、90周年にあたる今年度は、それを祝うことに集中するのではなく、新しい展示館の開館に向けて歩みを進めながら、次の10年、つまり開館100周年に向けた大切な通過点としていきたいと思っています。

例えば、ロゴマーク、「あら？ 見たことある」と思われる方も多いのではないでしょうか。実は、開館80周年の時のロゴマークの80を90に変えたものです。「え？ 手抜き？」一いえいえ、決してそういうわけではありません。まさに過去からの延長線上に未来がある、100周年までの大切な10年がこれから始まる、という思いを込めました。このロゴマークの制作者は大原美術館でもおなじみの福田美蘭さんです。美蘭さんは、私たちの思いに共感してくださいり、90周年のロゴマークの制作に全面的にご協力くださいました。ともに活動をしたアーティストの方とのご縁が続いていることもとてもうれしくありがたい、そんなロゴマークです。ぜひかわいがってください。

秋には「泰西名画がやってきた！」という特別展を開催します。毎年夏に開催している美術講座は、例年から変更し、開館した月の11月に「美術館創生」をテーマに開催いたします。どちらも、「ホンモノを見られる喜び」「美術館が存在することの意味」を皆様と考える企画です。大原美術館があること、あり続ける意義を問い合わせし、開館100周年に向けた次の10年の幕開けとできたらと思っています。

コロナウィルスが猛威をふるい、皆様も落ち着かない日々をお過ごしのことと存じます。開館90周年記念なんて気楽なことを、と思われるかもしれません。もちろん、私たちも、コロナウィルスの終息を何より願っております。そして、外出を控えている方々に少しでもアートを届けるができるように、職員たちもいろいろと考えています。お時間がおありのとき、大原美術館のHPに遊びに来ていただけましたら幸いです。

末筆ではございますが、皆様もどうぞご自愛ください。そして、皆様と笑顔でお会いできる時を楽しみにしております。



開館当初の本館前



開館20周年行事



開館50周年行事
壇上左側は、高階館長の若かりし頃



開館90周年記念ロゴ(14種のカラー展開!)

私が選ぶ この1点

後援会法人会員の企業・団体様にご協力をお願いしてポスターを製作している「私が選ぶ この1点」取材内容をこの紙面で紹介します！



株式会社いのうえ いのうえグループCEO 井上峰一氏

あの9・11の直後、この絵の前に佇み、見入る人が増えたと聞きます。そこに描かれているのは、戦争の愚かさと犠牲になった人々の悲しみ。そして、そうした人々が神の国で復活できるようにとの願いということでしょう。天国と地獄。即ち、人生そのものが描かれていると言えるのではないでしょうか。児島虎次郎画伯がフレデリックのアトリエまで訪ねて購入したお話。そして、この絵のサイズに合わせて美術館を設計したという逸話も含め、この大作に対峙する時、私自身、平和の心を発信する意義について想いを馳せるのです。



レオン・フレデリック(1856-1940)《万有は死に帰す、されど神の愛は万有をして蘇らしめん》
1893-1918年 油彩、画布 161.0×1100.0cm

ミュージアムショップ情報

新商品のご紹介

ミュージアムショップ マネージャー 中山美香



ミュージアムショップでは冬の間に新商品開発の「仕込み」をいたします。まずは、あらゆる世代の方に大人気の、当館所蔵のクロード・モネ《睡蓮》のアイテムをプラスしました。それが、「モネのスカーフ」です。手ざわり柔らか、高品質に見える質感の綿サテンで(綿100%)、税込み1,760円。おみやげにはもちろん、誰かに差し上げたくなる品として母の日プレゼントも念頭に置きつつ、また今のご時世的には気持ちだけでも晴れやかになってほしいという思いも込めて、お届けしております。

このほか、毎年恒例のマスキングテープのオリジナル新作も3種類ご用意。デスピニャの作品にヒントを得たものと、フスタート出土の陶片からの楽しいモチーフが並ぶもの、そして開館90周年記念、限定カラーの大振りサイズのものです。今年は思わぬウイルス騒ぎでの春となりました。ショップでも、アート的な感性を磨くための子ども向けのぬり絵やお絵かき、眺めるだけで楽しい図鑑ほか、モネの料理レシピ、マチスの切り絵など大人向け書籍との出会いを提案し、巣ごもり時間も少しでも前向きな気持ちで過ごす提案を心がけております。なおご来店時には、OHARAセンター俱楽部の会員証をぜひご持参くださいませ(提示で5%オフです)。



モネのスカーフ



新作マスキングテープ

表紙の絵



藤島武二《耕到天》
91×97.5cm 油彩、画布 1938年

山上に至るまでの耕作地の様子が、緑色や鶯色そして柔らかな土色のパッチワークで構成され、山里で今が盛りと咲く花の桃色がアクセントを添えます。

この穏やかな風景は、日本の自然の美しさや豊かさを謳い上げるのみならず、平地の少ない国土の貧しさを補って、高く山上まで耕してゆく日本人の勤勉さをも語っています。

後援会事務局より

コロナウィルス感染症の影響と対策について

3月以降、全国の美術館・博物館が休館を余儀なくされる中、大原美術館でも団体ツアーや幼児対象プログラムのキャンセルが相次ぎ、入館者数が激減しています。しかしながら「このような時期だからこそ、アートに触れることは、人々の生活の質の向上に資する」という思いから、開館を続けています。職員はマスク着用やアルコール消毒を徹底し、お客様に安心してゆったりと鑑賞いただけるように心を砕いています。

さて、関東圏にお住まいの後援会会員のみなさまにご案内している「懇親の夕べ(東京)」は、本年度4月23日(木)に東京都内の如水会館での開催を計画しておりましたが、飲食を伴う交流の場でもあることから、時期未定で延期といたします。開館90周年でもある今年、情勢が落ち着いたら、ぜひご案内させていただきたいと考えております。

大原美術館 〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15

TEL(086)422-0005 FAX(086)427-3677 <https://www.ohara.or.jp>

